

**平成25年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)
1対1対談(朝日町) 会議録**

1. 開催日時

平成25年11月29日(金) 8時30分～9時30分

2. 開催場所

朝日町教育文化施設2階視聴覚室
(三重郡朝日町柿2278番地)

3. 対談市町長名

朝日町(朝日町長 田代 兼二郎)

4. 対談項目

- (1) 県道桑名川越線の道路整備について
- (2) 2級河川朝明川の河床掘削について
- (3) 三重県総合博物館と朝日町歴史博物館との連携について

5. 会議録

(1) 開会あいさつ

知 事 おはようございます。今日は早朝からお時間を頂きましてありがとうございます。また、傍聴に来て頂いている方も早朝からどうもありがとうございます。

来年、朝日町は町制60周年をお迎えになられるということで、それを前に今年も人口も1万人を超え、また、朝日小学校の円形校舎が国の有形文化財に登録されたりと、非常にいいニュースもあって来年の60周年に向けて弾みのつく年だったのかと思います。

一方で中学3年生の女子生徒の痛ましい事件からちょうど3ヶ月が経ちました。町長から早速に安全の防犯灯の要望を頂きまして。我々としてもスピード感を持って対応しなければならないということで、この11月22日から防犯灯16器設置のための工事を開始したところであります。1月30日までには完成をしたいと思いますので、そういう形で我々も工事をしっかりとやっていきたいと思いますが、あわせて警察庁も3ヶ月という今までの中で過去最速の期間で懸賞金の対象にしたりということで、警察も全力を挙げて取り組んでいただいているところであります。

一方でその間、住民の皆様は非常に不安な思いをされていると思いますので、我々もしっかりと町民の皆さんの体感治安を、不安を少しでも払拭でき

るように朝日町さんと連携して取り組んでいきたいと思っております。

今日は1対1対談ということで、今年のトリを飾っていただくのが朝日町でありました。しっかりと限られた時間ではありますが、有意義な時間としたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。本日はどうもありがとうございます。

朝日町長 おはようございます。今日はまた早朝から本当にありがとうございます。そして、お礼方々のご挨拶になりますが、先ほど知事がおっしゃっていただいたように朝日町にとって本当に残念な、たまたま朝日町の子と四日市市の子が仲がよくて楽しい花火大会に行き、そして、その帰りに被害に遭ったということで残念なことでした。しかし、二度と繰り返していかないためにも防犯灯の要望をさせていただきました。早速、翌日には記者会見もしていただいて対応していただき、県、そして、町との正にパートナーシップ面での象徴的なことであつたと思ひます。そういう面で町民を代表してお礼を申し上げます。

今日は本当のところは、すこし時間を取りながら、ご案内したいところですが、来ていただいた教育文化施設には、図書館を含めて児童館もあります。そういう面で朝日をさらにPRしていくために少し時間を取つてとは思ひましたが、限られた時間ではありますが、ぜひPRもしながらお願ひもしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

(2) 対 談

1 県道桑名川越線の道路整備について

朝日町長 はじめに、県道桑名川越線についてであります。第1工区については、既に終了、施工していただいて第2第3のところへの要望です。朝日としてはご存知のように5.9平方キロ、約6平方キロと、三重県でも一番小さい面積の町ですが、それを取り囲むように国道1号、国道23号、それから、ご要望させていただく路線の桑名川越線、先ほど申しました、こちらがやっつていただいているところですが、そして、もう1つ、四日市朝日線、北勢バイパスが朝日町を取り囲むように幹線道路が走っています。

しかし、課題といたしまして、ご存知のように国道1号の慢性的な渋滞ということ。そして、特に桑名員弁のほうから、今、要望のところの路線で国道23号までなかなか抜けていけない形で、迂回をして朝日町の中央道路へ入ってくるというのがあります。したがって、安全上、大変な課題となっています。したがって、1つはこの桑名の要望にもなつております桑部播磨線の部

分を施工していただくことで、桑名・員弁のほうから国道 23 号へ抜けていく一つの道路になります。同時に、要望路線を解消していただくことで、安全が確保されるだけでなく、桑名インターチェンジ、朝日インターチェンジへの環状的な道路になるかと思えます。安全が確保されると同時に利便性、経済性の点でも有効な道路になるかと思えます。したがって、播磨線と同時に特に要望事項であります 2 工区 3 工区を早期にやっていただきたいということです。

知 事 今、町長からお話がありましたように桑名川越線と国道 1 号が交差する町屋橋南詰交差点のところが、特に朝夕を中心に慢性的な渋滞をしているということでご要望を頂いておりました。

今、町長がおっしゃっていただいたように国道 1 号からの西側の第 1 工区、東側の第 2 工区第 3 工区とありますが、第 1 工区につきましては、120m くらいだと思いますが、この 7 月 8 日に完成をしたところでは、

東側については橋梁のこととか堤防との関係がありまして、いろいろやり方を精査していて多少時間はかかっていましたが、第 2 工区につきましては、整備の方向性が整理できたので、今年度、橋梁予備設計、道路予備詳細設計を進めまして、来年度には事業着手に向けた用地測量を実施したいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

第 3 工区は、員弁川の河川堤防との兼用工作物ですので、堤防の背後に民家や用水路が隣接しているため、拡張するにはいろいろな検討が必要でしたので、第 2 工区と合わせて道路詳細設計と堤防設計の業務委託を発注したところでは、細部にわたっての検討を引き続き進めていきたいと思ひています。少しずつではありますが、そういう形で、まずは、第 2 工区、来年度、用地測量に入りますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。事業を進めるにあたり、そういうのが入っていきますので、地元の皆さんのご協力、ご理解が必要なので、なにとぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

2 2 級河川朝明川の河床掘削について

朝日町長 河床の掘削については、特に員弁川の方は、これまで何年かに渡って掘削、また、川の中央にかなり大きく生えていた大木に近いような木についても、処理をしていただくなど安心の面が続いていますが、同時に、朝日町は員弁川と朝明川に挟まれる形の中にあります。最近は大きな被害もないですが、過去に員弁川は昭和 46 年に決壊しまして、南のほうでは水が大量に入り、床下上含めてかなりの浸水をしています。

これについては、ご存知のようにハザードマップの中でも朝日町の場合は、約4割近くが浸水地域に入っている形の中で、もちろん津波の心配もありますが、直接的というよりは川を遡上してくる形の中で、浸水地域として指定されているのかと思います。

そこで、員弁川を含めてやっていただいた掘削を含めて、特に朝明川の場合は、朝日町からは関谷川という形で朝明川に合流して町外に流れているところがあります。朝明川の流れが悪いと、水も多くなってくると関谷川への逆流が考えられる中で、この辺が浸水してしまう恐れがあり、全体の掘削もそうですが、逆流しないような対応が必要であり、そういう面で改めて朝明川の対応、計画をぜひ立てていただきたいと思います。

知 事 朝明川につきましては、川越町地内の国道23号から近鉄の橋までの間を下流から堆積土砂を撤去してきました。平成24年度までで約1万2,000立米を、正確には1万1,800立米ですが、取ってきました。関谷川が合流するところでの近鉄橋より上流の部分につきましても、点検をさせていただいて、緊急度の高いところから順次、堆積土砂の撤去をしっかりと進めていきたいと思っています。

先ほど冒頭に今年の1対1対談、朝日町がトリを務めていただくということで、今年、29市町を回ってきましたが、堆積土砂の撤去は、非常に多くの要望を頂きました。この1対1対談は今年3年目で、去年も大変要望が多かったので、今年度の予算に特に堆積土砂撤去費の枠を設けました。なぜ今まで堆積土砂の撤去が進みにくかったかというのは、町長も皆さんもよくご存知ですが、改めて申し上げますと、橋や道路を新しく造りましょうという、県債や町の借金でできるわけですが、堆積土砂の撤去などの維持管理経費は県の県費がそのまま出るので、財政状況が厳しい中では県費等で出にくかった現状がありました。しかし近年のゲリラ豪雨のことを考えますと、そうも言っていられないということで、昨年からは堆積土砂の撤去の枠を設けてきました。来年度も特別枠で設ける予定ですので、場所については、今、申し上げたような形でやっていきたいと思っています。

併せて、堆積土砂の撤去の優先順位がどういうふうに行われているのかというのを、自分の市町だけでなく、全県的に見える仕組みを、どういうところが優先的に先に行われているのかという仕組みについても、今、3つの建設事務所管内で実験していますが、そういうのを全県的に展開できるようにしています。自分のところがなぜ行われぬ、始まらないと思うだけではなく、今、県ではこういう順番で緊急度の高いところからやっているということをご理解いただけるような仕組みについても、展開していけるように今、準

備をしています。

いずれにしても堆積土砂の撤去を、水位が上がってくるということでの不安感が住民の皆さんもあろうかと思いますので、緊急度の高いところから近鉄の橋の上のところも順次、展開していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3 三重県総合博物館と朝日町歴史博物館との連携について

朝日町長 それでは、3番目になりますが、来年度、いよいよ三重県総合博物館も開館を迎えるということで、本当におめでとうございます。それだけに朝日町としては、朝日町歴史博物館との連携も機会があればお願いしたいという要望です。

この朝日町歴史博物館自体は、平成9年に開館しましたが、メインは平成7年に通称縄生廃寺跡と言われているが、飛鳥時代の古代寺院の廃寺跡から唐三彩の壺が、基礎になっているところから出てきたということで、重要文化財に指定されております。その発掘の成果もあり、博物館が建った経緯があります。

特にご存知のように朝日町は、一般的に萬古は四日市となりますが、発祥の地です。当時、江戸時代に桑名にみえた方、沼波弄山さんという正に萬古の始祖の方の登り窯があり、朝日の丘陵地の上り道の下に埋まっていますが、ここで萬古が始まり焼かれた歴史があります。その跡を継いだ森有節という方も、木型を用いて同じものをいくつも作れるようなものづくりの始まりという形でもありまして、それが桑名の鋳物産業にもつながっていったのではないかと思います。そういう歴史的な部分が朝日町にはいくつか残っておりまして、正にこの博物館がそういうものを紹介させていただいております。したがって、そういうものを改めて三重県総合博物館との交流をぜひやっていただきながら、県の博物館もそうですが、身近にそういうのができるなら、県の博物館の所蔵物をお借りしながら展示をするという具体的な想いも持っております。そういう意味でぜひお願いしたいと思っております。

知事 ありがとうございます。おっしゃっていただいたように、萬古焼き中興の祖、森有節の物など、たくさん重要な資料が朝日町の歴史博物館には所蔵されていると思っております。後ほど改めて拝見させていただきますが、新しくできる三重県総合博物館には、萬古焼きをはじめ陶磁器類で大体2,000点ほどの所蔵をしています。萬古焼きを通じた連携を、所蔵資料を貸し借りしたり、共同調査をしたり、学芸員の交流の連携が一層できればと思ってい

ます。

開館前の資料貸出は今の段階では難しいですが、開館後、そういうこともできればいいと思いますし、朝日町歴史博物館も入っていただいている三重県の博物館協会が40周年を迎えますので、総合博物館の開館年の企画展示の一つとして、博物館協会40周年展を、「わが館はここから始まった」みたいな、テーマの名前は忘れましたが、そういう感じの中身で一緒になってできればと思います。総合博物館が津にできますね、津の人たちのものですねというのではなく、県全体の皆さんに活用していただき、県全体の地域の博物館と連携して、これからこの総合博物館がスタートしていくのを知っていただくために、今、申し上げた形での博物館協会40周年と連携した企画展示を来年する予定でおりますので、そういう中にも朝日町の歴史博物館も入っていただいて、共にPRをしていただく。

あと、開館後には、先ほど申し上げたような所蔵品の貸し借りや共同調査、学芸員の交流がし合えればと思います。そういう意味で総合博物館に来た人が朝日町の歴史博物館のことを知って、朝日町の歴史博物館に行っていた。あるいは、朝日町の歴史博物館に来た人が、三重県の総合博物館のことを知って、三重県の総合博物館に行っていただくというようなことで、様々な文化を知る機会が提供できる連携ができればと思っておりますので、引き続き、よろしくお願ひしたいと思います。

朝日町長 今のお話として膨らませたいのは、先ほど申しました白鳳時代に出た部分も、これは半分は自分の勝手な推測ですが、白鳳時代に出た跡のその当時の廃寺跡をたどっていくと、朝日町の縄生廃寺もそうですが、近くには桑名の額田廃寺、そして、ちょうど壬申の乱の進軍の跡というか、そういう形でいきますと、ほとんどのお寺が廃寺、もちろん年代からするとそうなんでしょうけども、それと、国がというよりもそれぞれ地方の豪族がそれぞれ進軍した跡に建ったのではないかという形でいくと、やむなく廃寺になった。その跡から出てきたとすると、当時の大海人皇子、鸕野皇女、後の天武天皇、持統天皇が吉野から逃れて、そして、不破の関から都へ上ったという形になると、同時に伊勢の神宮さん、大変な賑わいですが、正に遷宮が持統天皇が天武天皇の遺志を継いでやられたとなります、そういう面とつなげていくと少し面白い話になってきます。

知事 おっしゃるとおりですね。今おっしゃっていただいたことで、膨らませたい遷宮との絡みでというのは、今の町長のお話をお伺いしても、天武天皇というか、なかなかいろんな足跡を文化面においても、政治・行政に

おいても残してきた方だと思います。そもそも遷宮も天武天皇がやりなさいと言って、結局お亡くなりになって、持統天皇のときにスタートしましたし、日本のいわゆる法律制度、大宝律令も、結局できあがったのは701年ではありますが、それを指示したのは18年前に天武天皇が言ったということですから、そういう意味でいろんな足跡を残されている方との絡みがありますので、今、町長がおっしゃっていただいた話でいろいろ膨らんでいくかと思います。そういうのを僕のような素人の知らない者より、学芸員との交流の中でいろんな膨らみが出てくるのではないかと思いますので、一層の連携交流が朝日町を含めた広域全体でできていければと思いますので、よろしく願いいたします。

(3) 閉会あいさつ

知 事 短時間ではありましたが、ありがとうございました。

今日お伺いいたしました道路、河川、文化につきましては、来年度以降、しっかりと反映していきたいと思っております。

そして、先ほど冒頭にもご挨拶させていただきましたが、改めまして、痛ましい事件から3ヶ月を迎え、また、これから年を越えて事件のことが風化したり、あるいは、住民の皆さんの安全・安心を守っていくことに手拔かりがあってはならないと、二度とこういう事件を起こしてはならないと、そういう強い思いで朝日町さんとも連携をし、今、県警も懸命の捜査をしてくれていますが、そちらとも連携して本当に町民・県民の皆さんが安心していただけるよう、まちづくりのためにしっかりと連携して進めていきたいと思っておりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。